

第二十四号 荒就鳥

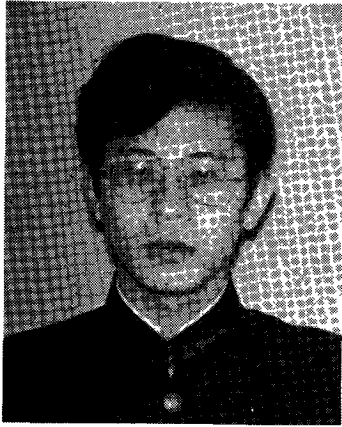
荒就鳥

福岡大学之術文化部会書道部

獨方觀見

石  
帚

心坐



幹事 江越 健二



講師 赤木 石掃



部長 小西 高広



FA (一石田)

# 筆・墨・硯・紙・書籍

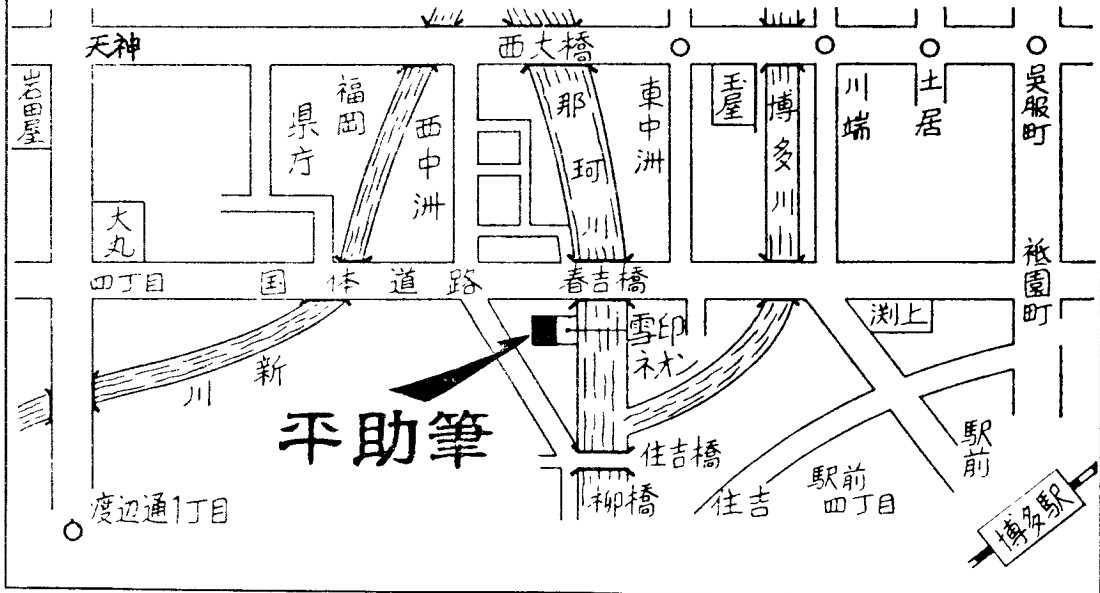
中国書道用品・展覧会の搬出、搬入

■駐車場有り

## 株式会社 平助筆復古堂

福岡市中央区春吉3丁目3街区9号

TEL(761)5122・(761)0884



## 序

福岡大学書道部機関誌二十四号「荒鷲」が発刊できます事は、誠に慶びにたえません。

我部も今年で二十三年目を迎え、伝統的にみても素晴らしいサークルに成ってまいりました。

今後、我々は、諸先輩方が築いてこられた確固たる基礎の上で原点を見失う事なく、一步一步堅実に前進し発展していきたいと思えます。

書道部には、今尚、成長発展の前途に数多くの問題を残しておりますが、この機関誌の発刊にあたり、もう一度、サークルというものを考え直してみたいと思えます。

第二十三代幹事 江越健二

## 何の人生ぞや

書道部部长 小西高広

現代の学生には悩みがあるのであるか。私には、学生のそうした心が伝わってこない。なぜであろうか。学生が精神の訓練を忘れて、物質の遊戯にふけっているせいであろうか。あるいは自分以外の存在は考えられない程、社会性を失ったせいであろうか。学生が学問を忘れ、常識人となったからであろうか。

現在の物質的豊かさの中で、学生が本当の感謝とは何か、という最も基本的問題を追求しないことにあるのではないだろうか。

矢内原忠雄氏は「神に対しては感謝がある。物質的生産力に対しては感謝がありえない。しかし感謝なきところ何の人生ぞや。」(マルクス主義とキリスト教)と書いています。

二十一世紀を生きねばならぬ学生が、今日の阿片に埋没して、明日の光さえ見えなくなってしまうのではないのか。深く考え、悩み、学ぶ人間、そして忠実に生きる人間が学生時代に課せられた課題ではないか。私達は人間、生命そのものの存在を問うことによってしか、二十一世紀を迎えることができないところまで来てしまった。

学生達よ、二十一世紀に生きる学生達よ、いまこそ、生命の根源を問うではないか。

矢内原氏は、同書の中で

「迷信は阿片だが、信仰は生命である。」と。

学生達よ、迷信から覚めよ、阿片から覚めよ、信仰いな生命を考えよ。そこから、すべてが始まる。

学生達よ、勇気をもとうではないか。

学生達よ、もっと純粹に生きようではないか。学生達よ、何の人生ぞや。

わが愛する学生達へ。これが私の叫びなのだ。

## 「文化の継承者として」

学術文化部会常任幹事会

幹事長 馬渡久幸

今日、教育問題が取り沙汰されている現代社会に於いて、我共大学に学ぶ者は一体何をすべきであろうか。

大学は、社会の形成者としてふさわしい人格を有する人材の育成を図ると共に、地域文化の中心的存在として広く地域文化の向上に寄与していくことであると思えます。つまり、地域文化の向上に寄与していくには、大学教育を基に、最高学府たる大学に学ぶ者が文化の継承者としての使命を果さなければならぬのです。

顧みると、昭和二十年、敗戦の直後には、物質的な意味での国家再建の目途すらおぼつかなかったように思われます。それにもかかわらず、というよりもむしろそれ故に、日本の将来を開く道として教育と文化の問題が非常な関心をもって取りあげられました。その意味で、経済が停滞し、社会に閉塞の趣があり、国歩の難しい八十年代はむしろ真の意味で、「教育の時代」「文化の時代」と言えると思われれます。

教育は、過去より伝承した文化を現代に理解させ、消化させるものであって、大樹が数年にして成らざるが如く、文化は、歴史と伝統に裏打ちされてこそ、重厚な輝きを放つものなのであります。すなわち、文化の継承者としての使命は、一つ一つの年輪を加えていかなければならないのです。

しかしながら、大学は、巨大な大衆教育機関となり、大学の大衆化は、高い知識の普及、教育の機会均等という点に於いては評価出来るのですが、文化の継承者としての意識を持たず、大学生の無気力が一般化しつつあるという現象も存在しているのです。

このような状況の中で、教育の一環として認められているサークル活動こそが、特殊性の追求を為すことにより、大学に於ける文化の継承者としての使命を果していかなければならないのであります。文化の継承者とは、単に、過去より伝承したものを受け継ぐのではなく、あくまで創造性をもってより発展的な活動を行なわなければならないと考えます。すなわち、より高度な特殊性の追求を為すことによって、広く地域社会へ文化の普及に寄与しなくてはならないのです。私は、学術文化部会会員一人一人が、文化の継承者としての使命を自覚する事を強く切望し、また、書道部に於かれましたは、書道という文化の普及、書枝の向上を目指し、精進を重ねて頂きたいと思っております。

# 掛軸、額縁、屏風表装一式 萬年堂

〒814 福岡市城南区鳥飼4丁目1-39  
TEL (092) 821-7767

合宿にクラブ活動に電話一本で

## 貸ふとんの丸屋

福岡本店	092-712-5511
北九州営業所	093-661-5541
東営業所	092-622-2190

厚生大臣指定校

# 福岡調理師専門学校



今か決断の時、資格はいざかい。  
スヘシヤリストにあなとも!!

## 昼間

◆定員.....150名

## 夜間

◆定員.....50名

■修業年限.....1カ年(昼)  
1カ年半(夜)

■入学期.....四月

■国家試験不要 調理師免許授与

■入学資格...中卒以上、男女年齢不問

■他に茶懐石科・喫茶スナック科  
家庭料理科もあります。

※就職及びアルバイトのお世話致します

◆入学案内は左記へ◆

学校法人 福岡家政学園

〒810福岡市中央区天神3丁目6-35

〈タイエイションパースより西方に歩いて1分〉

☎092(761)6155(代)

## 運転免許取得の早道



本 部 福岡市中央区渡辺通2丁目4番20号 パール福岡405号  
株式会社ドライバーズスクール ☎731-3421  
コース ☎963-0848

スチール家具・事務機・事務用品・D.E.P.

## (株) 香 文 堂

福岡市南区大楠1丁目34-21 (日赤前)  
〒815 TEL (092) 522-7141(代)

コンパ 歓迎

## 割烹 幾 永 (100名様収容)

福岡市中央区天神1丁目13-13 勧銀横 (福大卒業生の店)  
TEL (751) 1004

## 結 納 茶 の 店

わかば園

福岡市早良区飯倉7丁目28-5 TEL (861) 6365



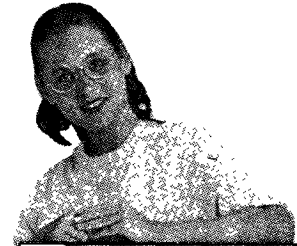
# あなたの瞳に合ったコンタクトレンズ メガネの愛眼でお選びください。

## あなたの眼、健康ですか？

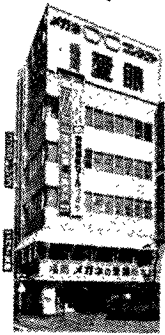
多数の有名メーカーの中から、お客さまに最適なコンタクトをお選びします。  
より安全に正しくお使いいただくために専門医が常在しています。

福岡愛眼ビル

瞳のデパート  
天神の黄色いビル

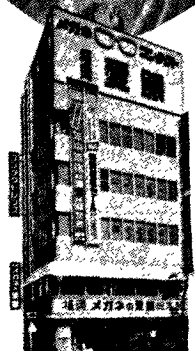
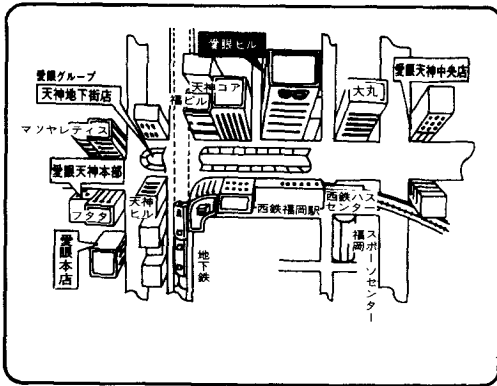


エレベーター	5F 総本部
	4F 愛眼コンタクトルーム ニチコン・メニコン・HOYA コンタクト リンネー 東成コン ハイドラ ン サン ボンユロム・東レ
	3F オガタ眼科クリニック 眼科 日曜日も診療(火曜日休診)
	2F メガネ・金製品 めがね べつ甲・補聴器
	1F メガネ・サングラス めがね コンタクトサービスセンター



# CONTACT

ソフト6社  
ハード7社



## 天神愛眼グループ

愛眼メガネ コンタクト 相談窓口 ☎(092)715-8602

## 天神 愛眼コンタクト

愛眼ビル (092)713-1100

## 大学生になつて

経済学部 一年 瓜生 達哉

ここ福岡大学に入学してもう早くも一ヶ月が過ぎようとしている。

入学時ほどの戸惑い、不安は少なくなったものの今だ高校生気分がぬけきれないといった状態である。

各自の自主性が要求されてくるこれからは、従来の先生に尻をたたかれてやる、やらされといった受身の姿勢ではいけない。

そういう意味でサークル活動などに積極的に参加して、多様な学生と交流をもち、親睦を深めることは自己の視野を広げて、人間的にも成長することと思う。

毎日、ただ講義をうけて帰るといふ繰り返しだけでは、成長どころか、大学生活で残せるものは何もないで終ってしまう。

大学生活を少しでも充実させる為、自分は書道部に入ることにした。

入部するからには、何事も中途半端に終らせたくない。腕は未熟だが先輩方の適切なアドバイスの下、一日も早く部に溶け込んで、しっかりやっけていきたい。

## 「親と子」

経済学部 四年 小田部 二三典

大学生四年となり、親元を離れ福岡の地で過した学生生活の最終段階を迎えた今、つきなみにではあるが本当に自分をここまで支えてくれた両親に感謝の言葉を送りたいと思う。大学に合格し、福岡へ送り出す時の母の涙を今でも昨日の様に覚えていいる。「頑張りなさいよ」その言葉に送られて大分の田舎から出て来て早四年目、今迄何一つ不自由なく生活を送ってお金の無い時も電話一本で銀行に振り込んでくれた父、その電話も、「金送れ」のその一言でおわってしまい、「元気でやっていますか」の一言も言わなかった自分が何とつめたい息子だったかと今になって後悔している。

大学を卒業してしまえば、今度は自分が親の面頭を見なければいけないし、その時に親孝行が充分に出来るだろう。といつも考えてきた。確かにそれはそうである。しかし、今までにちょっとした心づかいの親孝行が出来なかっただろうか。仕送りだけにたよってもっと時間のある時にバイトは出来なかったか。ぜいたくは仕過ぎなかったか。遊び過ぎなかったか。思えばきりが無い。

いつか親孝行が出来ると思っている私をふくめての部員諸君、もっと考え直してみたいかがでしょう。特に後輩諸君、これからの学生生活をもっと充実させて、学生生活悔いなき様に……。

## ある一冊の本から

商学部 三年 大場 満 恵

「人生は役役のきかない

一回きりのステージ」

もっと自分に夢中になろう。

もっと自分を愛してやろう。

自分の現在と、自分の明日を

いとおしんでやろう。

誰かを愛する前に、誰かに恋する前に

自分を愛し、自分に恋することから

始めてみよう。

仕事も恋愛も、結婚も出産も子育ても

どれかひとつしか選べない、という

強迫観念は棄てよう。

もっと欲張りになろう。

たった一度の人生なのだから。

いつしか、私は本を読んでいて、こんな詩を目に受けました。私は実

際この著者がうらやましく思えました。「今までに、出会いたかった人

」、それは、「何ものにも決めつけられず、本当に自由に自分を生きる

ことができている、現在の自分」だそうです。

自由であること、つまり、すべて自分で選択して生きることである。

もちろん自由というのは、野性の獣のような一面があり、しっかりマネ

ーシ&コントロールしないと、主にさえ牙を向く。しかし、それがうま  
くいっていれば、これほど素晴らしい人生の相棒もない。人生の手本な  
ど、ひとつもないはずだ。大切なのは、あなたがあなたを生きること  
であり、その中にこそ、生きることの答があるのだから。たった一度の人  
生、あなたを生きることができるのは、あなたしかいないのだ。

「もっと自由に、もっとあなたの人生を」

## 「書道部に残る？」

法学部 一年 照 本 英 治

入学式からはや一ヶ月、今の自分は大学生活に慣れたせいか、よく酒  
を飲み（もちろん、先輩から強制的に）、講義は自主休講、寮に居ても  
同輩、先輩とじゃれ合っていて、勉強のべの字も出てこない。いい若い  
者がこれでいいのだろうか？（いいとも！）もう一つ驚異的な事は私が  
全く入る気なかった書道部に入って、今もまだ残っているということ  
である。正直、書道はおもしろくない。今の自分の字の下手さを痛感し、  
人のいい先輩方が居なかったら、さっさとやめて、写真か無線に入って  
いただろうと思う。これは、ちょっと問題である。明るいはずの大学生  
活が暗くなってしまう。字を上手になりたい、でも書道は、おもしろく  
ない。これで今、私は悩んでいる。部に残るか否か。これは、非常に難  
かしい問題である。大学入試よりも大変だ。誰か、相談にのってくれま  
せんかね？ だんだん、書道部をやめそうだなあ。あーあ、どうしょ。  
本当に困ったもんだ。

## 独り言

法学部 四年 梅崎 孝夫

最近、書道に関して行きづまりを感じる。単調になる。どうすればいい。スピードに変化をつける。褐筆を加えてみる。ワンパターンになっ  
てしまう。どこが悪い。迫力が無い。粘り強い線がでない。線に伸びが  
ない。筆の倒し方を変えてみる。筆を紙に押しつける。だめだ。リラッ  
クスしなければ。同じ線質ばかりじゃおもしろくない。抜いた線を引い  
てみる。墨量が足りない。字をしめなければ、アクセントをつけてみる。  
やっぱりだめだ。

迫力をカバーできるものはないのか？流れを出すことだ。関連性がな  
ければ字の羅列にすぎないじゃないか。もっと空間を利用しなければ流  
れが出ない。行間をすっきりさせたらどうだろう。字の積み方に工夫が  
足りない。理論でわかっても思うようにならない。はがゆい思い。

ふと、ある人に作品が窮屈と言われたことが頭をよぎる。現在の自分  
が不安定だからか。字には心の状態がすぐに出てしまう。「あせっては  
だめ。落ち着け。落ち着け。」と自分に言い聞かせる。潤いが欲しい。  
大胆さが欲しい。粘りが欲しい。他人には引けない強い線が引きたい。  
練習しかない。書き続けることだ。そうすれば自分が表現できるように  
なるかもしれない。個性がでればいい。自分のすべてがさらけ出せば  
それでいい。あと何年かかることやら。「努力なしでは何もなすことは  
できない。頑張れ／頑張れ」と心の中で繰り返す。

## ふとした事

商学部 四年 高橋 福代

一九八三年、五月九日、朝 起きて「キャー、今日は天気がいいなあ  
ク おはようフクヨ」と自分に言いながら、おふとんの中からゴソゴソ  
……今日も一日が動きだした。さあ、今日は何をしようかな？ どれか  
ら始めようかな？ いい事があるかな？とちょっとした事を考えながら  
時計を眺めている。急に現実の世界にもどり、あわてて、おふとんをな  
おしこんだ……」

本当に時間が立つのは早くて、もうAM・十一時を過ぎている。今は  
荒鷲の原稿を書きながら、外を眺めたりしている。たまに風がふいて、  
部屋の中に入り、とても気持ちがいいなあ。このまま、時が止まり  
夢をみたい気分……

とても広い野原……

花がいっぱい――

馬や牛が餌を食べている

一人の少女がうさぎと走り回っている

走っても走っても どこまでも続いて果てしない

ふと気づくと泉があり

それは とてもきれいで 透き通っていて

水は とても冷たい

ピシャ……ピシャ……

とても気持ちがいいなあ~~~~~

最近、よく思うのは、夢を忘れすぎている様に思える。あまりにも現実をみすぎていて、イライラする事も多し、時間を過すのが、へたになつてきている。

いつまでも夢をもった一人の少女の様にありたい。

悔いの残らない様にマイペースで過ごしたい。

## 今 私たちは……

経済学部 三年 古 埜 雅 文

人は、ともすれば、目的を失いがちだ。

今の世の中が、あまりにも平穩すぎていることにも、原因があるだろう。確かな目的を持たずして、毎日を過ごした時の、あと味の悪さは、だれもが味わったことがあるが、それを忘れるため、必死にあげき、その答を見つけ出せず、亭楽的な方面に足を向ける。この悪循環による社会への不満は若者を何事に関してもしらせさせてしまう。しらけた人間ほど付き合いくいものはない。私にしても、まだはっきりとした目的をもっているとはいえないが、しかし、だからといって、しらけた人間にはなりたくないと思つて、必死にあげているようです。私は、昨年色々な形で人間の生命いのちというもの、つまり死というものを考えさせられた時期がありました。人間、いつかは死ぬものです。それを考えると、やはり、一日をいかに充実した日にするか、充実した日とは？ 私には答を出すことはできなかつたみたいです。

現代の家族は、核家族化の増加で、死というものにめぐり会う機会が少ない。わかつていても、死というものを考える時期は少ないものです。答は出せなくても、何か生活が変わってくると思うのですが……。私はまだ二十歳になつたばかりで、いまだだけが残つたようでした。しかし、何か変つたみたいない気もします。今の私たちには、まだ、何も一人でやることはできないまだ準備期間の人間なのである。

今、私達の回りから与えられた課題、それは大学の講義であり、クラブ活動であり、また諸々の活動ちごであろう。これを、気分でこなすのではなく、自分のためだというやる気でもって行なつていったら、そこにはまた新しい感動が、きつと見つかるに違いありません。朝、起きて、外に出ると、いつもと違つた今日に出会えるかもしれませんよ。

## 期待と不安

法学部 一年 田 中 美 佐 子

西鉄利用者の殆んどが乗ってくる協和ビル前—のもひとつ前のバス停から乗ってゆうゆうと座り、協和ビル前まで行き、そこで席をとろうと必死に乗ってくる人達に優越感を感じてしまう今日この頃……。どうにか先輩の名前と顔が一致するようになりました。それにしても先輩や同じ一年生の人達、とっても個性が強くて、地味な性格の私はどこまでついてゆけるか、ちょっと不安なのです。福大自体には、最初からあまり期待はしてなかつたけど、福大の書道部は他の学校との交流もあるし有名な先生がいらっしゃると聞いていたので、大きな期待がありました。実

際、思った以上に「すごいなあ」と感じました。高校時はクラブには入らなかったし、中学時では入ってたけど、てきとうなクラブだったので、はっきり言って先輩に対してどういう接し方をすればいいのか何も知らないんです。だから入部して、まだ数十日しか経ってないけど、その間先輩方に失礼な事を言ったりしたりしたかもしれないけど、今後そんな時は優しく叱って下さい。—なんて考えが甘すぎるのでしょうか?!

正直言って私、神経が凶太いから、気がきかなくて迷惑ばかりかけそうです。でもO型だから仕方ないですね。できるだけ謙虚な気持ちでいるように努力しますから、世間知らずの箱入り娘の私に、いろんな事を教えていただきたいと思ってます。

## 心もよう

経済学部 四年 内田 崇之

人間をとりまいている自然や生活は、毎年似たようなものだけど、人というのは、年々歳をとって変わっていくものだと、昔の中国人は、移ろいゆく人の身のはかなさを、

年々歳々 花相似たり

歳々年年 人同じからず

と詠嘆した。

この地球上には、南米のペルーや、標高三千メートルの尾根をいく放牧インディオなど、二千年前とまったく変わらない生活を送っている人達がいる。しかし、私達の社会はどうであろうか。日々、情報という名

の渦に巻きこまれ、機械文明に追い立てられて暮している。まあ、どちらが幸福であるかは別として、

いったんこういう社会に生まれたのであれば、もう降りることは出来ない。こういう書き方をすると、社会というのが、あまりにも味気のない殺伐としたものになります。大学四年生という自分の立場を考えると、42、195年という、マラソンのスタートラインに立った心境であります。時代の流れに遅れないよう、しっかり今を生きていこうと、自分に言いかけながら、晴れ渡った青空と大きな太陽を、この胸に秘めて、残りの大学生活を、勢一杯送りたいと思う。

そして、来たる巢立ちの時にこの荒鷲の如く飛びたつ為に……

## 私の四年目

工学部 四年 西口 公恵

早いもので大学に入って四年目となった。今では書道部に三年間も在席していたことが不思議に思われる。すでに一年の頃から色々非難を浴びてきた。おかげで幸や不幸か、「耐えること」は得意とするところとなった。自分の講義のカリキュラムさえも満足にこなせないのにサークル活動が出来る筈がないと思ひ、幾度か書道部を辞めようと思ったこともあった。泣いたことも数知れない。しかし今では続けてこれたことをうれしく思っている。

多額の授業料と仕送りをうけるだけで、アルバイトもせず、サークルに属している。私が親になったときこれだけのことを子供にしてやれる

だろうかと思うほど、両親にしてもらった。

こうしたこと、大学の四年間は私の財産である。四年間で学んだこと、得たこと、身についたことは生涯の糧にしなければならぬ。しかし、私は多額の支払いに見合うものを得たのであろうか？

四年目にしてこのようなことを思う。

## 「プラモデル」

工学部 一年 尾崎 光 義

自分はプラモデルを作るのが好きだ。

作るといっても組み立てるのはそんなに難しいものではなくて色を考えて塗るのが難しいがそこがいい所である。

色の組み合わせによって良くも見えたり、ださく見えたりする。

今まで作った中では、車が多くていつも千円程度の安い物ばかり作っている。

船などはあまり作らないが、作ったあと、小学校のころは、川に浮かべて友達と沈め合ったり、車も作ったあととすぐに誰かにやったりして家には作った物は全ったく残っていない。

あまり作りすぎるとお金がついて行かないので最近は作る回数が少ない。

でも作っているととても気が落ちつき、バツグンに出来上がったときの感動は、作った人でないとわからないかもしれない。

味 自 慢 御かまぼこ

# 上 田 蒲 鉾 店

福岡市中央区六本松 電話 (741) 7109

COFFEE & RESTAURANT

# MINAMI

TEL 871-0040

アパート・間貸・下宿

# 高 田 住 宅

〒814-01 福岡市城南区片江5丁目1番31号 (東七隈信号角)

## 大学生活について

商学部 一年 堤 伊一郎

大学に入学して二カ月が過ぎ、大学の生活にも慣れてくると、はたしてこの大学生活の中で、どれだけのことがやれるのだろうかという疑問があります。

大学での講義に於いて、少々なまけたことをしても、特に強く注意を受けることもなく、極端に言えば、好きなだけなまけられ、中学・高校といった個人的に先生から説教をされることもありません。

大学とは、一生の中でも最も自由度の高い期間であるから、最も無為にも、最も有効にも使える時間なのです。

自分自身が働きかけなければ、何も得られなく、我武者羅になって働きかければ、大学生活の中で、大きな財産を得ることになるだろうと思います。

今、自分は、書道部というサークルにはいっています。なぜ書道部を選んだかと聞かれてもわかりませんが、サークルという厳しい上下関係の中で、多くの人と出会い、クラブ活動の行事の中で、様々な事と学び、考え、感じ取りながら、これまで以上に様々な事を経験し、自分の言動や行動に責任の持てる一員として、毎日をおごしたいと思っています。

先輩方の指導のもとで、これから、がんばっていきますのでよろしくお願ひします。

## 感じるままに……

商学部 三年 田原 信秀

今年も、新しい一年生が我部、書道部に入ってきて、なかなかにぎやかな部屋になってきた。彼ら一年生を見て、自分の一年生だった頃の事を思う、今日この頃である。

少なくとも、俺が一年の頃は、何もわからず、なまいきな事ばかりやって、先輩にも迷惑そかけた事もしばしばだったが、その時はそれがあたりまえの様に思っていて、今思えば、本当によく、あんな事ができたものだ。近頃、よく三無主義とかの言葉を聞く。俺も、実際、その中の一人ではないかと思う。しかし、思っているだけで、その後の行動がつかれていない。そこで、最近、本を読み初めた。そこから、何かを吸収しようとして、あせって読みあさっている。

本というものの魅力は、自分が、その中の主人公になった気分になされてくれるし、その時の場面場面を想像できるので楽しい。

本を通して、少しでも自分を変えていこうと思っている。そうすれば、自分の行動にも幅がでてくるのではないだろうか。

しかし、最近、ばかやる事が少なくなった。人間が小さくなったのだろうか。変に利口になってしまって、する事する事に臆病になってしまっているんじゃないだろう。

一年生諸君、大いに遊べ、大いに行動せよ、それから、考える。そして、一歩も十歩も百歩も自分を大きくしていけ。



焼とり権兵衛第21号

やかた

# 権兵衛館 てんじん

天神3丁目天神横丁  
でんわ 761-2684

自転車・オートバイのことなら  
まごころサービスで全力奉仕

## 武末商会

城南区飯倉1丁目Fバーズ荒江店前 TEL821-9407

やきとり

## 宝 満

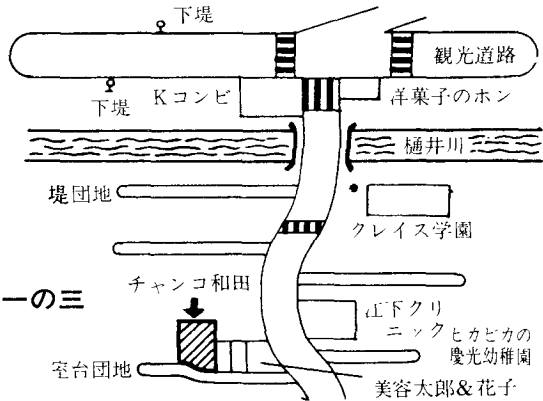
コンパ出来ます  
(25名様位)

梅林店 梅林バス停前 ☎871-5801  
友泉店 友泉第二 ☎863-0894

## チャンコ和田

大小宴会できます  
ちゃんこ鍋1人前1200円

於 福岡市城南区樋井川四丁目三十一の三  
電話 092-862-1012



## 冒険狂時代

法学部 四年 柴田直人

頃は五月、早四年いくつかの転期があり今に至っている。

思えばこの四年は俺にとって冒険の時代といってよいのである。

もともと放浪癖のある性格ではあったが、元来引っ込み思案の内氣と  
きては無茶はせずおとなしく真面目の見本の様な少年だった。

ところが暴走する事を覚え味をしめたのが運のつき、今では綱渡りになろうとチャンスは逃さずあちらこちらと動きまわっている。別に何かはっきりとしたものを求めているわけではないが生きている証しを立てる為に冒険している。

「半バ」と言う言葉があるが、半バな生き方だけはしたくない。人が半バなつまらない生き方をしているのを見るのもいやだ。だが最近ほんとと半バな軟弱者が多い事か、みんな本気で生きようぜ

かの坂本竜馬も言っているではないか「男は大きな目標を持たねばならない。その目標に向かって前進するのみ、途中で死のうと悔いはない」と。今の世の中大望はいらない。しかし、常に前向きに突き進む度胸と失敗してもかまわず突っ走る若さと少しばかりの分別を持っていないければこの世の中さびしい、あまりに味気ない。

たとえ無駄な旅でもないではないか、もしかしたらいつか何かに役立つかもしれない。いやきつと役に立つ。失敗と無駄の積み重ねの上に現在の俺達があるはずだ。業をして成功する奴なんて世界中に何人もいな

いはずだ平凡な俺達だ、無駄な冒険をしよう。  
偉大なる明日の為に。

今冒険狂時代………。

## 今想うこと

法学部 一年 堀江葉子

近頃やっと大学生活にも慣れて、その日一日の自分をふり返る余裕が出てきました。毎日が飛ぶように過ぎて行くのは、きっと今の生活が充実したものであるからでしょう。小学一年生が、真新しいランドセルを背負って顔を輝かせながら学校へ通う姿に、今の私は似ています。もちろん、ランドセルもピンク色のホッペもありませんが、心の中は負けないくらい輝いているつもりです。ただ講義を聞くだけの毎日であったなら、恐らく疲れた顔をして通っていることでしょう。クラブ活動がこれほど私の生活に張りを与えてくれるとは、思ってもみませんでした。

書道の基本を一から教えて下さる先輩方に少しでも報いることができよう、上手に書けなくても心のこもった作品が作れるようになりたいと思います。そして、私自身をも成長させてゆきたいのです。きっと先輩方にとっては、元気なだけで欠点だらけの一年坊主でしょうが、これから少しずつ大人になる階段を上っていかうと思っています。先輩方から自分の欠点を指摘されるのは、大変辛いことです。しかし、自分の欠点に気づかず大人になってゆくことの方がもっと辛いことだと思いません。「お前は甘え過ぎだ」と言われるかもしれませんが、何か思われる

事がある時には、容赦なく教えていただきたいのです。私はその一つ一つを心に刻みつけてゆきます。そして今のこの素直な気持ちを忘れずに、輝きを失くさずに、一日一日を過ごして行きたいと思えます。

## 好 ぎ

工学部 四年 山城 邦 敬

好き、と単に上げてみたけれども、これはあらゆる面で大切な事ではないかと思う。大学生活一つを例に取ってみると、活動としては、勉強、サークル、友達付き合いなどがある。勉強は、それだけで嫌いと考えられる人も、中にはいるかも知れない。僕も二年の時、ある教科が、嫌いであつた。しかし何とかせねばと考え、その教科を教える先生を好きになれれば良いと思い、好きになる為に、授業は、いちばん前で受け、質問を見つけては聞きに行ったり、とにかく先生に接してみた。好きであると思ひ、事に当たると、なぜか積極性が出てきて、良い結果が得られたのです。サークルだって同じだと思ふ。書道、先輩、後輩、同輩、行事に、酒飲み、遊びなど、要素がいっぱいある。しかしこれら全ての内、好きでないものを、嫌いだと決めつけてはいけない。好きになろうと努力しなけりゃいけない。好きな物の世界には、無責任や無関心、無気力は、絶対に起こらない。好きと言うことは、相手に対しては、良い所ばかり見えて来て、その事は、信頼関係や思いやりに、物に対しては、好奇心や愛着になって表われてくる。気持ちの上で、そうなればしめたもので、好きということ、顔や、行動で表現して、より一層好きの度合を増し、持続していけば良いと思う。

僕は、あと残された一年間の柔軟性ある大学生活中でと、社会に出てからも、より一層ありとあらゆるものを好きになり、吸収していこうと思ふ。

## 大 学

法学部 一年 原 浩 志

大学で何する所なんか？

福岡大学に入学してつくづくそう思うんです。自分は賢いわけでもないし、勉強は大嫌い、大学に行く価値があるのだろうか。

親に、大きな負担をかけ、自分は、東雲荘という指定寮に寝泊りしているんですが、先輩の大半は大学に行かず、寮でマンガかテレビを見ているんですね。日曜日には、バイクに乗ってツーリング、そんなことで、大学の四年間を自分も過してしまうのか、なさけない……。

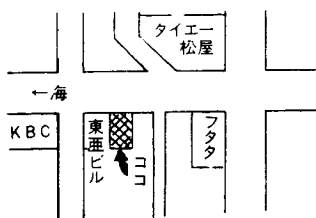
回りの雰囲気は舌み込まれないよう頑張るつもりです。親のためにも自分のためにも必ず。

自分が福岡大学に入学して、これだけは守ろうという目標があるんですね。それは、第一に、自分は偉くないのでテストの点をいい点はとれそうもないので、講義だけは必ず出席することです。

第二に、勉強しなくてはいけないのわかっているんですが、できそうもないので、本をできるだけ多く読みたいんです、いや読みます。



ビートルズ  
サウンドが聞ける店



パーティー・コンパ  
5名～60名迄ご予約できます  
貸切パーティーOK

〒810 福岡市中央区天神3丁目10-32  
ロゼ天神ビル1F

☎713-5693

COFFEE & PUB

リバプール

額・表装一式

菊池晚香堂

〒810 福岡市中央区六本松3丁目12-24

TEL (092) 741-0897

MARUSEI

JONAN-KU NAGAO 5 30 17 TEL 871-0008  
TAGAWASHITEN TEL 094763-2980

お好み焼・焼そば

ひさご友泉店

友丘3丁目1の23 TEL 862-2901

あなたの街の家電専門店

オーディオ・AV  
マルヨ無線株式会社  
マルヨ無線株式会社

マルヨ 長尾店

城南区長尾1丁目16-19 ☎871-1556

## 春が来て

商学部 四年 二 村 暁 美

春が来て、夏が来て……。

巡り巡って春が来て。

今度春が来る頃は一体何をしているのかしら。なんてふと近い未来を不安がる私がここに居ます。

時が経つのは本当に早いですね。何をしたわけでもなく何があったわけでもなく、いつのまにかすぎてしまっているのですから。

この間、友達にももらったばかりの花、つぼみが一つしかなかったのに、今では、たくさんのお花が開いています。一枚一枚花びらを広げていく様子を見ると、とても心が洗われる気持ちになってきて、こんな小さな花もしっかり生きているんだなって、花から生き方を教えられた感じがしています。

私もすっかりしなくては。

## 先輩、後輩

法学部 二年 藤 代 裕 之

時のたつのは遅いようで速く、速いようで遅い。もう大学生として二度目の春を迎える今時分だが、もう一年も過ぎたのかな？を思うととて

も信じられない。そういう自分にも下宿にしろクラブにしろ後輩ができてしまった。

ある日、大変疲れてねむたい真夜中、いきなりドアのノックの音が「コンコン」「ハイ」ガチャッと開いたドアの向こうにはなんと後輩が立っていた。「先輩、来ました。」遠い所からわざわざ自分を訪ねてくる後輩というものは実に何とも言えないかわいらしさと、うれしさとがあり、例えどんなに疲れていようと心よく迎えてやることができる。一年前を思い出して自分が先輩の下宿へ行った時なんかもこんなふうに思っ てくれたのかな？

後輩ができてしまったのだから必然的に自分は先輩というものになってしまった。

部室にいても校内を歩いている時でも突然「先輩」という声が聞こえてくる。果たして誰のことだろうか？と思っ ていてと後ろから知った顔が何と後輩だった。するとさっきの「先輩」というのは自分のことだったのかと思っ て何だかこぼれ感じになってきた。

もう自分は後輩だけでなく先輩でもある身なんだ、それなりの自覚をふまえこれからあと三年間がんばって行こう！

## 書道部に入った動機

法学部 一年 田 中英 樹

私は、あまりきたくなかった福大にきてしまった。通学は、遠くて、人数も多いからである。

でもきてしまった以上、大学生活を楽しむために、何かスポーツのサークルに入ろうと思った。

しかし私に合うサークルが無くて校内をぶらぶらしているうちに友達が入っている書道部につかまった。心の中で、「いやなのに、つかまったなあ。誰が入るか、書道部なんて。」

でも話がうまい人から数十分に及ぶ結果、私は書道部に入れられた。

真剣に私は、字がへたなので今、随分苦勞している。

人間辛抱が必要である。

また、書道部内でスポーツが盛んなので、スポーツに張切っている。

## 春休みの一日の事

商学部 四年 高 杉 素 子

従兄の結婚式の後、疲れ体で母と一緒に母の知人宅を訪問しました。

そこに「空」と書いて「ひろし」と呼ぶ三つのおっちゃん男の子がいます。名前の通り青く澄んだきらきらした本当に純粹で好奇心一杯の目をしている子なのです。その目で私がする事に一つ一つ反応を示してくるのです。子供の無邪気さってほんとにかわいいなって思って、自分の方がこのおっちゃん「空くん」より随分劣っている事を感じました。最近子供と遊ぶ事などない私なのですが、ついつい疲れも忘れてこちらの方が夢中になってしまいうぐらい遊んでしまいました。すぐに憂うつな気分になりがちな昨今、こんな楽しい時をもたせてくれた空くんは今度いつ逢えるかと思っている自分が何となくおかしく思えるのです。

## 得人一牛、還人一馬

法学部 三年 鍋 藤 利 浩

「得人一件、還人一馬」、と言う中国の俚諺がある。中国に大変興味ある自分に取ってこの俚諺は、数ある俚諺の中でも好きな言葉の一つである。それは、この俚諺の意味する所にある。

「牛をもらったらその見返りとして馬を与えよ」、すなわち「善意には善意で返せ」というのがこの俚諺の意味である。中国の華橋は、一応の財産が出来る時、それぞれの分に應じて社会に還元する事を考えると言う。自分の今日あるのは、社会の「善意」によるものだと思はれるのである。

今現在、私達は、この俚諺の意味するように、善意を善意で返す事を行なっているのだろうか、自分の事を考えて「YES」と言える人は、自分を含めほとんどいないのではないか。相手の善意だけに甘えすぎ又は、相手の善意ばかり期待して「馬」を返す事をすっかり忘れてしまっているに違いない。

近頃自分の利益ばかりしか考えない利己主義的な人間が増えたとよくマスコミで言われているが、人間は一人では生きる事が出来なく、多かれ少なかれ、社会つまり他の人々の恩恵をこうむりながら生きていく。それに対しどの様に善意を返すかは最も基本的な人生作法の一つではないか。

『得人一牛、還人一馬』

## 書道部に入学して

法学部 一年 平 田 聖 子

入学式の規模に驚き、又、大半が男性であることに圧倒され啞然として初日目が過ぎた。

ひそかに書道部に入ろうとされていて、勧誘週間の切っ掛けがあつたしなむ程度にやっていた経歴だけでなんとかなるだろうと思つて入学して、はやくも一ヶ月が経ていこうとしている。

決意するまでには、色々迷い、悩み、なんとなく不安や心配がないわけでもなかったが、思いきつて部屋の戸を開けた時は、たばこの悪臭とおじさんぽい人たちが、すごく印象的だった。入学したばかりなのに、それらが気に入らなくて、退部しようかなあと思つたが、女性の先輩方にすごく感銘をうけて、やっぱりやめられないなあと思ひ、今は、歴とした書道部の一員になっている。

いいかげんな性格上、練習も適当だし、先輩方に対しても不格好な言葉使用である。しかし、毎日少しずつ指適されながら、クラブに参加している。

それから、初対面の赤木先生にもそれを見破られ、ちょっとは恥ずかしい気持ちがあり、始めて、先生としての魅力も感じた。

そこで、これから四年間の課題が出てきて、自ら喜ぶべきことだと思つている。

## 俺の部屋

経済学部 三年 石 橋 正 隆

窓の外は闇の中

雨がすこし降っている

静かに硝子戸を閉める

俺の部屋は外との回路を鎖とぎされる

静かになった俺の部屋にはFMが流れ

音は静かに壁の中に入っていく

白い無表情の壁には白黒のポスターがある

ポスターは白い壁には合わない

俺はベットに横になる

誰かがドアを叩くたた

俺は静かに起きる

白黒のポスターとFMの音楽を確かめ

俺はまた横になる

俺は深い眠りにはいる

俺は夢を見る

夢の光景

## 夢の話

俺はそれをどこかで見たことがある  
それがいつかどこかはわからない  
夢は昨日も同じだった  
その前の夢も同じだった  
不思議と同じ夢ばかり見ている

不意に

誰かがドアを叩く<sup>たた</sup>

強く激しくドアを叩く

俺はうっすらと目をひらく

ベットに横になる俺

窓からくる光はあまりにも強く

俺の心にグサリとささる

誰かが言う

「お前は雨があがったのを知っているか」

「お前の部屋と外とはお前の知らない間に変ってしまった」

俺はハッとして起きあがる

## 大 望

経済学部 四年 江里口 吉 光

桜が咲き、樹々のいぶきが強く感じられる春が今年もやって来ました。それと同時に、フレッシュな一年生もたくさん入学し、我が書道部も新入部員をむかえました。

人間、十人十色で新入部員にも、色々な個性の持ち主がいるみたいで。意地ばりなやつ、気の強そうな者、優しそうな女など色々です。その中でも、一層私の目を引くのは、気が強くて元気のいいやつです。そういうやつを見ると、当時の自分を見るようで、うれしくなります。私が、先輩を手こずらせた筆頭者だったからでしょう。自分のやりたい事は、他を気にせずどんどんやりました。そういうバイタリティーのあの者が好きだからでしょう。

これまで楽しかった事も数えきれませんが苦い経験も多かったようです。苦い経験の影には先輩ありで、よくおこられました。が、そういう苦い経験が、私をより成長させてくれたようです。一年生もこれから色々なことを経験していくと思います。書道部という大きな洗たく機の中でもまれて、個性を発揮し、魅力ある人間になってください。

私も、残り一年の学生生活となりましたが、なすべき事はまだたくさんあります。四年になった私に、親も色々注文をだしますが、あと一年間は「我が道」を歩きます。学生生活の最後の年です。気合いを入れて、突き進みます。



# 掉尾

法学部 四年 簗原千枝

なすがままに流れ過ぎた三年間。

多くのものを得、また、失った。

私にとってこの三年間は長くて短かったような気がする。

『困難なことがあった時、それに向って進めば、その苦しみは半分ですむ。しかし、それを避けようとする、苦しみは二倍にも三倍にもなる。』と、チャーチルは言ったが、私はこの三年間、一体どのくらい困難なことに出会ったのかなあと思う。

その困難なことを乗り越えた時でも、乗り越えられなかった時でも、いつもそばには友人がいてくれた。そして、ある時は励まし、ある時は叱り、そっと私を支えてくれた。

友人とは本当にありがたいものだと思ってしまう。もっともっと大切にしなければ……。

残りあと一年になってしまったが、したいことや、しなければならぬことがまだまだたくさんある。どのくらいできるかわからないが、一日一日を大切にしていきたい。

悔いが残らないように、大学生活の掉尾を飾るように、精進したい。

国産 中国産 総合書道用品 天神貸画廊オープン  
卸 商

書 苑

## 硯 山

〒810 福岡市中央区天神三丁目23-23

T E L 092(721-1644) 営業所 下関・東京・新橋

## 将 大 端 炉 焼鳥

城南区大字片江倉瀬戸129-5 T E L 863-9958

## 初夏に思う

法学部 四年 驚崎 ゆみ子

初夏です。早くも大学に入って四度目、そして(多分)学生生活最後の夏を迎えようとしています。

四度目とは言いましたが、想い返してみても、一体私は過去三年間に何をやってきたのだろう、という疑問しか浮かびません。勉強も単位さえ取れば……という様な具合でしたし、特に遊んだというわけでもありません。自分なりにがんばっていたつもりクラブ活動でさえ、考えてみますと、反省、後悔することばかりです。本当に、三年間の「つけ」が今、回って来たという感じです。

学生生活もあと半年。せめて、この半年だけでも後悔することのないよう努力していこうと思っています。

## ” 人生のシナリオは自分で作る ”

法学部 四年 坪 矢 一 義

先日、ある宗教団体らしきサークルの者からアンケートをされた。

” あなたは神を信じますか？神によって自分の人生を幸福なものに変えたいと思いませんか？ ” と。私は ” 神は信じるけど神によって自分の運命を変えたいとは思はない。 ” と答えた。 ” 神なんか自分の運命を変

えられてたまるか」という気持ちがあった。たとえそれが幸福な運命であっても自分の運命を切り開いていくのは自分であって、神でもなければ易者でもないのだ。そもそも ” 易者 ” とか ” 予言者 ” という類いの者は気にくわない。あんな連中に明日の自分や二十年後の世界が見えてたまるか。

” 人生明日がわからないからおもしろい ” のであって見えない将来を自分で切り開き、 ” 人生のシナリオを自分で作る ” ところに喜びも生じるのではないだろうか。

## 約 束

商学部 四年 松 山 理 恵

私の友人に三十九才の男の人がいます。この男性とは週に二度、英会話の教室で顔を会わずだけの付き合いです。しかし、彼に会って話をするたびに、私は彼の勉強に対する熱意に驚き、自分が情け無くなるのです。学生でありながら、何もせずに過ごしてきた自分を恥しく感じます。

早いものでもう四年です。何もかもが、『あと、一年しかない』と刻々と自分にせまってきたような感じです。

この最後の学生生活を、一年後の自分の為にも、目標をもって生活するつもりです。大学に入る前に父と約束した事を守る為にもこの一年は私にとって最後の大切なものになりそうです。幾つになっても今の気持ちを忘れない、ゴールを持った自分でいたいと思っています。

## ある晴れた日のある考え

商学部 一年 山本 順一

なぜか書道部に入ってから早くも一ヶ月近くが過ぎようとしている。今だになぜ書道部にいるのか自分自身よくわからない今日此頃である。悲劇とも言える書道部との出会いは、自修寮生である僕とK先輩との出会いに端を発したのである。監察をしているK先輩の前でタバコを吸うという大それた事をやって以来、頭の上らない僕は「今度ちょっと練習見に来いや。」の言葉に傾き、次の日書道部の部室を叩いた。そこで僕を待っていたのは、「今日から練習するか？」という言葉と、某先輩の有無を言わせぬ目であった。こうして書道部としての僕が誕生した訳である。

## たわごと

法学部 四年 平田 経子

若き命も過ぎぬ間に  
楽しき春は老いやすし  
誰が身にもてる宝ぞや  
君くれないのかおぼせば

心の春の燭火に  
若き命を照らし見よ  
さくまを待たで花散らば  
哀しからずや君が身は

藤村

さて自修寮の生活にもすっかり慣れ、書道部にもほんの少し慣れた今やはりここは勉強するしかないと思いきや、外を見るとお日様がポカポカである。僕は考えた。「学生としての自分は勉学である。しかし今日は貴重な日曜日だ。どうしよう……。」などと迷うこと三分。勉学は非常に大切である。しかし、春の陽気が男の性を刺激する。そこで僕は考えた。勉強だけではダメだ。遊びとの両立をやらなければと、切り換えが大切だと。春の陽気の中「両立」という言葉の快い響きを胸に感じながら僕は天神に「ナンバ」に出かけた。(たしか昨年もこのような人がいたようないなような……?)

性格バラバラ 口だけの山本クンのある晴れた日のある考えでした。

早いもので四年生になってしまいました。この三年間で多少とも思ったことを字数の許す限り書いてみたいと思います。  
まず、女性に多いようですが、自己の赤裸の感情を露出することは時として、他人の感情の平静を掻き乱すことが多いということです。英国貴族階級に見られることですが、彼等は自己の感情を人に見られることを厭い自己の感情のプライバシーを飽くまで固守しますが、しかしまた、他人の感情のプライバシーをも尊重しているそうです。

次に、何を笑うかによって、その人の人柄がわかるということです。人は自分が実際にもっており、笑われた人に欠けている優越を見て幸福

になるのです。また、相手に対して自分の劣等性を感じたときその優越性を装った仕返し。さらに虚栄心によって。しかし、日本人には無意味で不気味な、世に言うジャパニーズ・スマイルが多いことは確かかなようです。

さらに、私達は不当な批判に対しては抗議するのですが、過大な称賛はそのまま受け入れます。そして、たいいていの人は批判されて向上するより称賛されてだめになる方を好みます。また、自分の失敗は社会の罪にしますが、成功は自分のせいにしたがるのです。

「弱い者にとって救世主であったキリストは、強い者にはつまずきである。」私は神は信じてはいません。むしろ人は神によらず聖者になり得るか、「神に酔った」人であると同時に奇人である資格をそなえた聖者が何と多いことでしょう。私は神様ごっこはその人たちに任せます。いけない。字数をオーバーしてしまいました。こんなたわごととは、もうこちらで止しにします。

## 回顧録

経済学部 四年 津 村 文 彦

水郷で有名な柳川から電車にゆられながら福岡大学に通学して早三年間が過ぎてしまった。思えば、高校を卒業するまで、全んど都会に出た事のない私にとって、高層ビルが立ち並んでいる町並、そこで働く人間の群れ、交通機関のものすごさ、女性（OL）が田舎と比較にならない程に美しいという事 etc. : 見る物全てが私に対しては、驚嘆の一語で

あった。当初はそういう世界の中に毎日飛び込んで行くことが大変苦痛であった。そうしている間に一年間が過ぎてしまい、自分でも押さえ切れない憤りを感じ始めた。このままではいけない、なんとかしなければ、クラブに入ろう、私は縁があって書道部に入部した。五十名程度の静観な雰囲気のあるクラブであった。その中で色々な出来事があった。文化系のクラブには珍しい礼儀の厳格さ、部員数の半分近くが女性部員であった事、二年から入った事で一度に先輩になりつきあいかたに戸惑った事など etc. : : :。しかし、今思うと、何かの縁で大学へ来て、書道部に入部した事は、大学生活の中でも一大革命であった様に思う。特に私がクラブで学んだ事は、失敗をおそれず何事にもぶつかって行く姿勢、その過程で色々な難問があっても、くじけずにやりぬく事であった。そして、私が四年までやってこれたのも諸先輩方の御陰だと思っております。どうもありがとう御座いました。窓の外を見れば、季節は晩春から初夏を向かえている。季節がうつり変わる様に残り一年どんなドラマが生まれるか楽しみである。

## 期待と不安の中で

経済学部 四年 中 村 純一郎

もう四年目：：時が過ぎ行くのは早いもので学生生活もあとわずかなり、いよいよ社会へ飛び立とうという時期が来ている。

それも期待と不安を抱きながら：：：：

自分の道を歩もうとしている今、みんな目指すところは同じだと思ふ。

そこへは二人でも三人でも行くことができるだろう。しかし最後の一步は自分ひとりでは歩かねばならないものだ。と……。

簡単に自分の道を歩むことができるとは思わない。だがこの書道部でいろんな経験をしたことは尊いものだと思う。どこまでやれるだろうという期待と不安はあっても書を通じた人間関係、厳しく指導されたこと、楽しくやったこと、中心的な役割を果たしたこと、そして悩み落ち込み考えたことが今となっては自信となり、自分の道の基盤になるかもしれないと思う。又刺激し合い仲間意識を高め、今の自分を再認識させ前よりも成長させてくれたことだろう。それは自分なりの価値感、考えが固まってきたことから言えよう。自分の道——それはまだまだ未熟な自分が言えるものではなからうが、「今、自分で決断し、自分で歩かねばならない。」と自分に言い聞かせたい。そして書道部においてはまだ四年生として自分の経験した力を注ぎ、最後まで頑張ろうと思う。後輩たちには「もっともっとお互いを刺激し合いお互いを伸ばし自分自身を磨き成長させていこう。」って言いたい。後輩が先輩にくらいいつくのなら先輩として負けぬ努力をして行きたいものだ。

川の向こうに 何があるだろう

渡ってみよう 自分の足で

そしてそこで見たものに 私は素直になりたい

今からの人生に 何があるだろう

確かめてみよう 自分自身で ——

## 今年の春

経済学部 三年 市川 初江

また春がやって来た。新しい一年生が入って来た。そして私は三年生になった。

私は毎年春になると何かしら新鮮な気持ちになれる。しかし今年は、なぜかそれが無い。何たることだ。なんだかだるい。何かやろうと思うのだけれど、結局は何もできない。何もする気にならないのだ。毎日がむなししい。外は五月。緑が光の中で輝いている。私はただ、それを目を細めて見ている。楽しそうな笑い声をあげながら、歩いている女の子たちがいる。むりして笑う私がいる。その子たちに、昨年までの私の姿をだぶらせる。私が自然に笑っている。今年はなぜあんなふうに笑えないのだろう。何もかもが楽しくない。何もしたくない。ふっふっふと、どこか遠くへ行ってしまうと思う。そう、どこか遠くへ行ってしまう。そこは、草花が、いっぱい咲いている所がいい。小鳥のさえずりが聞こえる所がいい。山に囲まれている所がいい。とてもとてもきれいな所がいい。私は一人、そこに座っていたい。しばらくボーとしていたい。何をするとということもなく。

昨日近くの公園で子スズメを見た。小さかった。私はちょっとだけ、顔がほころんだ。窓から外をながめ、再び私は思う。どこか遠くへ行きたい。一面に花が咲き乱れ、小鳥のさえずる声かして、山に囲まれている所に、その中に、私はたたずんで、歌を口ずさむ。ララ。ラーララ。

## 思いやりの心

工学部 三年 江越 健 二

近頃、どうすれば要領よく生きていけるかということをはかして生きている人が、増えてきたように思える。中には、人生は要領よく生きなければ損だという人生観で生活してきたから、就職に有利になることしかやらないなどというように将来の生活に役に立つこと以外は何もかも無意味だと思っている人もいる。」

しかし、自分は、先輩、後輩、そして同輩と同じ目的をもち楽しさ苦しさを分かち合いながら活動していくサークルには要領よく生きていくためには必要のない「思いやりの心」があり、それこそがサークルの魅力であり、人生を豊かにしてくれるものではないかと思う。一年の頃、やめたいと思った時、ある先輩のやさしさに触れ、酒を飲み交し、語り合った事は今でもはっきりと思い出す。「音楽をモラルでしか聞けなかった人が、はじめてステレオで音楽を聞いたときの、あの感動に等しいものだった。どんなに要領よく立ちまわっても、けっして味わうことのできない感動を得た。そして現在、三年の自分がある。要領よく生きれば不満がたまる。そうすれば、酒を飲んだり、うわさ話をしてうっぶん晴らしをする。そんなことではかえって、やりきれないほどの寂しさにつきまとわれるだけと思う。将来に役に立つことばかりやり、要領よく生きてきながらも、心の底では、人間らしい暖かい心に触れたがっている

のが人間であり、そんな心に触れた瞬間、生きているという充実感（サークルの魅力）を知ることができるとはないだろうか。自分の役に立つこと以外、他に考えることができないう人は、音楽をけっしてステレオで聞けない人だ。

## 生きる

法学部 四年 大宮 一

私は、ある機会に日本に一人しかいないという「こけし造りの名人」に会うことが出来ました。その方は昔、書道を志した様でしたが、志半ばにして「こけし造り」に変わられた様です。恐らくは先代の跡を継ぐ為だったと考えられますが……。その方の仕事場は大きな部屋の一角なのです。木工場で製材からこけしの外形が生まれ、この部屋でこけしに魂が入れられるのです。一角の机上には、みごとに硯があり幾通りもの筆が並べられています。墨の他にもう二色、紅色と緑色が用意され、ほとんどのこけしがこの三色で完成されるのです。着物の模様が凝っているものは、出来上がりに時間がかかるので、既に作られているだけです。比較的模様が簡単なものは大きさにもよりますが、十分から三十分の間に仕上げてしまいます。おさげの髪に紅色の髪かざり、目鼻を入れて着物を着せて、それが梅の花や菊の花だったりとても愛らしい女の子が出来上がります。この数十分間私は、名人の筆の動きにみとれているばかりでした。失敗はまずみあたりません。ただただひたすら、こけしに命を与える。温和で優しいような、時には鋭い眼差しが半世紀を費や

し、今、人間国宝として燃焼しています。

一つのすばらしい生き方を目の当りにして自分の未熟さを痛感しました。そして人生の重みと、修練の尊さを知りました。

すばらしい結果は、厳しい過程からしか生れない。微温湯につかっても新たな進展は望めない。山頂を窮めるには、ただ頂を目差すだけだ……。人生を完全燃焼したい……。と今、思っています。

## 性 格

経済学部 四年 満 生 憲 親

四年生となり、就職活動を目前にひかえた最近になって、自分自身の性格が如何なるものなのか妙に気になりました。ふと、昔を振り返って見ると、自分も随分と変わったものだなあ、と感じる。それは大学、いや、書道部に入ったからかなあ……。と、一人で思うこの頃である。

この歳になると、「人は自分(私)の事をどう見ているのだろうか。」「と気になる事もしばしば。逆に、「こいつはこういう奴か。」など、いかにも企業の人事担当者になった気分、人を批評する事もある。

その対象の一つとして、性格があげられる。性格は、私達の内にあり私達についてまわる。実際、自分や他人の行動の理由を性格の中に求めることから分かる。例えば、「私は内気なもので。」とか「あいつは神経質だから……。」「とか。

高校の時、保健体育の授業で、クレッチマーの性格類型について学習した事がある。それによると性格は、Z、S、E、H、N、P型の六つ

の型に分けられる。それら個々の特徴を述べると、

△Z型V：：躁鬱質（せううつ）

(一) 社交的で、誰とでも気軽につきあえる。

(二) 喜怒哀楽を率直に表現する。

(三) 明るく陽気な時と、沈んで暗い時がある。

△S型V：：普通分裂質

(一) 非社交的で、ユーモアがなく、変り者。

(二) 自分の私生活を他人に見られる事を嫌う。

言わば、Z型とS型は正反対である。

△E型V：：粘着質、又は、てんかん質

(一) 几帳面で、何事にも丁寧で熱中してする。

(二) 異常な程きれいな好き。必殺掃除人である。

(三) 冗談が下手で、ユーモアがない。

△H型V：：ヒステリー性質

(一) わがままで勝気

(二) 話の仕方がオーバーで、自分が中心でなければならぬ自分本位の

考え方をする。

(三) 人の話の揚足（あげあし）を取りたがる。

△N型V：：神経質

(一) 弱気で、物言を悲観的に考えやすい。

(二) 敏感で、内省過剰。

(三) 感受性が強く、考え過ぎる傾向がある。

△P型V：：自信過剰で自己中心的

(一) 自分の考えを人に押しつける。

(一) 二自分の都合のいい様に物言を考えやすく、何においても自分が正しいと思ひ込む。

(二) 気軽に交際できる友達が少なく、敬遠されがちである。

と、以上が概略だけではあるが、類型の特徴である。さしづめ私は、Z型とH型の気質を兼ね備えている様だ。自分の性格について考えて見る事も面白いものである。さあ、あなたは何型???

## 『山水蒙』

商学部 四年 志 岐 真 樹

「この四年間を有意義に過ごしたい。その為には、大学という、ある意味では粹のない自己を磨くためには持ってこいの場を書道を通して自己を見つめ直し、四年後には何段階も飛躍した自分を期待する」これは一年のときに書いた荒鷲の文章だが、今こうやって荒鷲の原稿を書いてみると三年間の出来事が破裂寸然の風船のように見える大きな岩となつて、俺の頭の上にかかってくるようだ。一年の十月に、田島に来て早や二年七ヶ月。いろんな人との出合いがあり、一〇二号室のドアをたたき、人の気もしらずに所かまわず汚しては去っていた者が何人いたことだろう。

そして焼鳥「あかし」「彦左」。ここは忘れられぬ場となった。カラオケが好きで、マイクを放さない人、横に人を座わらせては説教する人「つやぶって迷惑ばかりかける人、そして焼鳥屋の家族、ここは俺にとって未来を知る場であり、人生を知る場である。ここで酒を飲んで人

と接していると、いつも頭に浮かぶ「山水蒙」という言葉がある。山から出てくる水は大変きれいなものである。このきれいな水はよごすこともできるし、きれいなままでさらに大きな流れに変えることもできる。そして一方、山というものは徳をあらわし、水は知をあらわすという。山があつて水が湧き出るように、徳があつてこそ知恵が生かされるというのである。そして蒙は、つたからずが本におおいかぶさっていることをいう。われわれ人間は本来、汚れない美しいものであつて伸びる可能性を秘めたものであり、その美しいもの、伸びる無限の可能性を導き出し、おおいかぶさっている障害物を取り除いて人間を形成するものが教育であるというのである。何故こういう事を思ひ出すかというのは、前に書いたようにいろんな人の出合いにより、その人の生きざまを見てみると、いろんな人生の修羅場をくぐり抜けてきて、きれいな水のまま純粋に生きようとしている人、汚れた水となつても必死に昔の自分を取り戻そうと、もがき苦しんでいる人を見るからである。こういった事は書道部というサークルにおいても同じことが言える。汚れを知らぬ新入部員、方向を模索している二年生、方向を指示している三年生、大海を目前にしている四年生。書道部には、いろんな生き方をしている人間がうごめき、ひしめき合っている。その中で、流れにそれたり、障害物にぶつかつたりすると、同輩という流れに助けられ、ある時は先輩という流れに助けられ、またある時は後輩という流れを押し流したりする。そういつた流れに乗って、いつしか大海が見えてくる。今から書道部という絆で一年間、一人も欠ける事なく後輩という、そして四年間助け合った友という流れに乗って大海を見たい。

書道部とはそれができる所だ。



# 福岡大学学術文化部会書道部 規 約

## 第一章 名称及び目的

第一条 本部は福岡大学学術文化部会書道部と称し、本学学生による書道愛好者の団体である。

第二条 本部は部員相互の親睦融和をはかり、人間形成を目指すと共に書道文化の普及、書枝の向上を目的とする。

第三条 本部は前条目的を達成するために次の事業を行なう。

- 一、書道に関する事業
- 一、書道に関する調査並びに機関誌などの刊行
- 一、関係団体との親睦ならびに連絡提携
- 一、各種展示会出品
- 一、その他前条目的達成のため必要と認めた事業

## 第二章 組 織

第四条 本部は講師及び部長各一名を置く。

第五条 本部は幹事、副幹事、会計、企画、庶務、渉外、その他必要とする役職を置き、本部を代表する。

第六条 本部は次の機関を置く。

- 一、役員会
- 一、部員総会
- 一、O・B会、但しO・B会規約は別に定める。

## 第三章 役員 会

第七条 役員会とは、部の円滑なる運営を期するための機関である。

第八条 本会は原則として、第五条に基づく役員によって構成される。但し、第五条に基づく役員以外であっても幹事が認められた場合には、本会に出席することが出来るが議決権はないものとする。

第九条 本会は幹事によって召集され代表される。

第十条 本会は毎月一回開くことを原則とする。

第十一条 本会の議決は、部員総会の決定を妨げるものではない。

## 第四章 部 員 総 会

第十二条 本会は本部の最高議決機関である。

第十三条 本会は本部の部員によりこれを構成する。

第十四条 本会は必要に応じてこれを開き、幹事がこれを兼務する。

第十五条 本会の議長は原則として、幹事がこれを兼務する。

第十六条

- 一、本部会は部員の過半数を以って成立する。
- 一、本部会の議決は出席者の過半数の賛成を必要とし、可否同数の場合、幹事がこれを決定する。
- 但し、出席者の過半数の賛成で重要事項とし、その決定には

出席者の三分の二以上の賛成を必要とする。

第十七条 本部会不成立の際、出席者の三分の二以上の賛成を以って

仮議決することができる。但し、

一、仮議決については事後部員総会に於いて過半数の承認を必要とする。

一、重要事項は仮議決することはできない。

## 第五章 役員

第十八条 役員構成は第五条に同じ。

第十九条 第三条につき、外部関係諸団体へ役員を派遣することができる。

第二十条 幹事は本部を代表し、副幹事は幹事を補佐し、幹事に支障ある時はその職務を代行する。

第二十一条 本部の役員改選は選挙制にし、これを重要事項と認め部員の無記名投票による選挙を行なう。

但し、委任状は認めるが、委任の方法は年度によって異っても良いものとする。

第二十二条 本部の役員の任期は四月一日より翌年三月三十一日までとする。

但し、役員改選後、翌年三月三十一日までは代行期間とし、その責任は新旧役員の連帯責任とする。

尚、欠員が生じた場合これを補充する。

第二十三条 役員改選は原則として十月に行なう。

## 第六章 役員の仕事

第二十四条 役員の仕事は次の通りである。

一、幹事は部務を処理し、部を統括する。

又、部の代表責任者であり、その責任を学術文化部会と部全体に負う。

一、副幹事は幹事を補佐し、幹事に支障ある時はその任務を代行する。又、福岡大学書道部OB会の事務を担当する。

一、会計は部費徴収並びに部費予算に関する収支の記録決算書を作成。

一、企画は第一章第二条に定められた本部の目的にそって諸活動を企画する。

一、庶務は本部の活動に必要な諸事務を行ない、資料の徴収保管をなし、機関誌の発行を行なう。

但し、機関誌の発行は年一回とする。

一、第五章第十九条に基づく役員は、本部関係諸団体との親睦融和を図り部の向上を目指す。

## 第七章 会計

第二十五条 本部の会計年度は四月一日より翌年三月三十一日までとする。

第二十六条 本部の部費及びその他の所定納入金については、前年度末に部会に於いて決定しなければならない。

第二十七条 会計報告は会計が行なう。又、部員の要求に応じて会計簿を公開し、年一回決算報告書を作成し、これを報告する。

#### 第八章 部員の権利義務

第二十八条 本部の役員は次の権利を有する。

一、本部のあらゆる活動に参加し、人間形成の場として利用すること。

一、本部の役員総会に出席し、その議決に参加すること。

一、本部に於ける選挙権、被選挙権を有する。

一、本部の備品及び図書を利用すること。

第二十九条 本部の部員は次の義務を負う。

一、部員は部員総会に出席すること。

但し、やむなく欠席する者は事前に欠席届を幹事に提出しなければならない。

一、部員は部員その他の所定納入金を定期的に納入すること。

一、本部の規約に従うこと。

#### 第九章 入部・退部

第三十条 本部の入部は年度始め募集することを原則とし、学文会登録及び入部金納入を以って部員とする。

本部の退部は書面を以って幹事に願ひ出て、役員会の承認を得、部員に通達する。

但し、退部を希望する者は、その在籍期間までの所定の納入金を完納する。

#### 第十章 罰 則

第三十二条 書道を研究する熱意なく本部の名誉を汚したる者、部活動を理由なくして一ヶ月以上怠った者。又、部の秩序を乱す者は部より除名する。

但し、欠席届提出者についてはこの限りではない。

#### 第十一章 規約改正

第三十三条 本部規約改正の発議は部員総会に於いて部員の四分の一の同意により総会の議決を経て行なわれる。

尚、改正においては、本部員の三分の二以上の出席を必要とし、その出席者の三分の二以上の賛成を必要とする。

#### 附 則

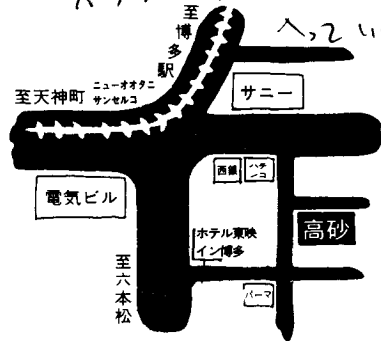
附 一 本規約は、昭和三十五年より実施、昭和四十五年四月一日改正。

1/3 (7020212)



6200 集客  
6300 開店

サニーマートの四角を  
大橋側に作る。  
10422層の本質の道を  
入っていかせる。



大小宴会、コンパ、ご商談等に  
お気軽にご利用下さい。

〒810 福岡市中央区高砂1丁目4-14  
TEL (531) 3500-0140

おかげさまで、開店1周年



# サニー片江店

TEL 801-7151 営業時間 あさ10:00～よる8:00

# 焼鳥 あかし

内田・志岐の店

城南区田島四丁目17-18 (田島派出所斜前)  
TEL (844) 3325

トヨタレンタカーだから安心です！  
よいクルマ・よいサービス

☎801-1234

TOYOTA **トヨタレンタリース福岡**  
**福大前営業所**  
レンタリース

タバコ・食料品・フィルム・DPE

# 長商店

福岡市城南区片江倉瀬戸バス停前 TEL (861) 7455

戦国焼鳥発祥の地

焼鳥

# 家康

コンパは都心で  
天神に四店・博多駅前・西鉄久留米駅前  
博多中洲・赤坂門他箱崎二十一号まで  
名代串かつ家康駅前に誕生

予約受付 家康本部 851-0032 (代表)

自転車・バイクの御用命は

# 篠原自転車商会

福岡市城南区荒江1丁目28番21号 TEL (821) 0551

コーヒーハウス

# 北 欧

福大バス停前

TEL 871-6232

福岡大学書心会  
規 約

第一章 総 則

第四章 役 員

第一条 本会は福岡大学書道部書心会と称する。

第八条 本会は次の各号の役員を置く。

第二条 本会は事務室（本部）を福岡大学書道部に置く。

一、会長（一名）

第三条 本会は支部を置くことができる。

一、副会長（一名）

第二章 目的及び事業

一、評議委員長（一名）

第四条 本会は会員相互の親睦を図り、書道文化の普及、向上に努めると共に福岡大学書道部の後援を行ない以って斯道に貢献する事を目的とする。

一、副評議委員長（二名以内）（会計兼務）

一、評議委員（原則として各代一名とする）

第五章 役員 の 職務

第五条 本会は前条目的達成の為次の事業を行なう。

第九条 本会の役員は次の職務を行なう。

一、書道の振興に関する事業

一、会長は本会を統轄し、且つこれを代表する。

一、書道に関する研究物、機関誌等の刊行

一、副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。

一、関係諸団体との親睦及び連絡提携

一、各種展示会出品

一、評議委員長は、評議委員会を統轄し、且つこれを代表する。

一、其の他前条目的達成の為必要と認めたる事業

一、副評議委員長は、評議委員長を補佐し、評議委員長に事故ある時はその職務を代行する。

第三章 組 織

第六条 本会正会員は福岡大学書道部員として登録をなし卒業をした者を以って構成する。但し強制するものではない。

第十条 役員は書心会の企画、立案にあたる。

第七条 本会に総会、評議委員会を置く。

一、評議委員は書心会の企画、立案にあたる。

第十一条 総会は書心会の最高決議機関である。  
第十二条 書心会総会は会員を以って構成する。  
第十三条 書心会総会は次の各号の場合、書心会会長がこれを召集する。  
一、定例総会（年一回）  
一、会長が特に必要と認めた場合  
一、評議委員会が必要と認めた場合

第十四条 書心会総会は出席会員を以って成立する。  
第十五条 書心会決議は出席会員の過半数を必要とし、同数の場合は議長がこれを決定する。

第十六条 書心会総会議長は書心会会長がこれにあたる。

#### 第七章 評議委員会

第十七条 書心会の執行機関として本委員会を置く。  
第十八条 評議委員会は評議委員をもって構成する。  
第十九条 評議委員は次の各号の場合、評議委員長がこれを召集する。  
一、会長が必要と認めた場合  
一、評議委員長が必要と認めた場合。

第二十条 評議委員会の成立、並びに議決は書心会総会に準ずる。  
第二十一条 評議委員会議長は評議委員長がこれにあたる。

#### 第八章 会 計

第二十二条 本会の会計年度は毎年一月一日より始まり十二月三十一日に終わる。

第二十三条 本会会費は総会に於いて決定する。  
第二十四条 会計は総会に於いて、その年度の会計報告を行なうものとする。  
第二十五条 会員は書心会運営費用として毎月三月三十一日までに会費納入の義務を負う。

#### 第九章 入会及び退会

第二十六条 入会については、第十七条に該当するもので且つ、本人の申し出によるものとする。  
第二十七条 書心会をやむをえぬ事情の為、退会する場合は書面をもつてすみやかに申し出る事。

第二十八条 書心会を退会し、再入会の申し出があった場合、評議委員会の承認を得た者について入会を認める事がある。

第二十九条 書心会で本会の名誉を損し、また会員としての体面を汚し、もしくは不都合な行為があった場合、総会の決議により退会を命ず。

第三十条 二年間会費を滞納したものに於いては退会を命ず。

第三十一条 本会規約の改正は評議委員会の審議を経て総会出席者の三分の二以上の賛成を得なければならない。

#### 第十一章 附 則

第三十二条 本会規約は、昭和五十六年一月一日に改正する。

第三十三条 本約規は、昭和五十六年一月一日に施行する。

第十一條 総会は書心会の最高決議機関である。  
第十二條 書心会総会は会員を以って構成する。  
第十三條 書心会総会は次の各号の場合、書心会会長がこれを召集す。

第二十三條 本会会費は総会に於いて決定する。  
第二十四條 会計は総会に於いて、その年度の会計報告を行なうものとする。  
第二十五條 会員は書心会運営費用として毎月三月三十一日……

## ☆☆☆ 編集後記 ☆☆☆

寒さが日増しに強くなってまいりました。 本年をもちまして「荒鷺」も第二十四号を迎えました。

この荒鷺を発行するにあたり、部員一同が一丸となって、がんばってきた事は、これからのサークル活動の上で、糧となっていくものと思います。また、これを機会に、我書道部が増々発展していく事を願ってやみません。

尚、最後になりましたがこの荒鷺を発刊するにあたり、御協力頂きました。諸先生方並びに、関係者諸氏の方々に對しまして、紙面ではございますが、心より御礼申し上げます。

「第二十四号荒鷺」

「荒鷺」

福岡大学学術文化部会書道部機関誌

昭和五十八年十二月発行

発行責任者 江越健二  
編集責任者 田原信秀

発行所 福岡大学学術文化部会書道部

〒八二四一〇一 福岡市城南区七隈八一十九一  
電話 八七一〇四七二

印刷所 川島弘文社

〒八二二 福岡市東区箱崎ふ頭六一四一四  
電話 六四一一二六六五